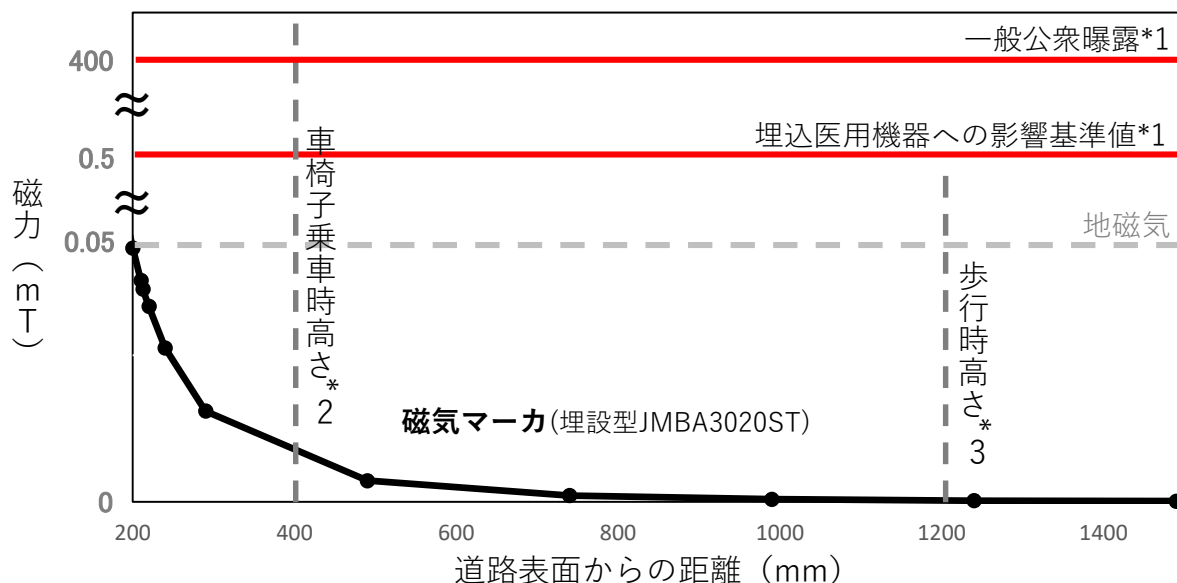


GMPS Global Magnetic Positioning System

曝露限度値に関するガイドラインに対する磁気マーカの磁力

No. GMPS-QA-002



*1：国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)ガイドライン

*2：日本自動車工業会

*3：人工知能研究センター

- 車椅子乗車時に磁気マーカ真上で埋込医用機器が受ける磁力は0.01mT程度、歩行時に磁気マーカ真上で埋込医用機器が受ける磁力は0.0003mT程度であり、それらの値は地磁気よりも小さく、埋込医用機器が磁気の影響を受けないとされる0.5mT以下を十分満たしております。
- 磁気マーカは日常的に使われている冷蔵庫やホワイトボードに使う磁石と同程度の磁力です。他の磁石製品同様、埋込医療機器には近づけすぎないようにご注意ください。

静磁界の曝露限度値に関するガイドライン 国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)

●一般公衆曝露

ヒトに対する静磁界の直接的影響に関する科学的知識に基づけば、一般公衆の急性曝露は（身体の任意の部分において）400 mT を超えるべきではない。

●埋込医用機器への影響

低い静磁界強度で電磁的干渉による動作への影響が観察されているのは、心臓ペースメーカー、特に磁気スイッチ付きのものなどである。一般に、これら機器の動作は、0.5 mT 以下の静磁界では有害な影響は受けない。